

海洋理工学会平成29年度秋季大会プログラム

日時 10月26日(木) 10:25-19:00 学会賞記念講演・シンポジウム
10月27日(金) 09:30-15:50 一般講演
会場 京都大学 楽友会館(京都市左京区吉田二本松町)

10月26日(木) 学会賞記念講演・シンポジウム

10:00 受付開始
10:25 開会

学会賞受賞記念講演

10:30-11:00 H1 第15回 堀田記念奨励賞 高木淳一(京都大院情報)
Simultaneous identification of multiple signals from phase modulation-coded transmitters for acoustic biotelemetry of fish school
11:00-11:30 H2 平成29年度論文賞 植田真司(環境科学技術研)
青森県汽水湖鷹架沼における流況と塩分躍層の構造特性
11:30-12:00 H3 平成29年度業績賞 杉野伸義((株)環境総合テクノス)
栄養塩海水標準物質の開発と普及
12:00-13:00 昼休み

シンポジウム「西之島から地球を知る」

13:00-13:10 趣旨説明 月岡 哲(海洋研究開発機構)
13:10-13:55 S1 西之島の噴火活動と上陸調査 武尾 実(東京大地震研)
13:55-14:40 S2 噴出物から探る新たな西之島の噴火プロセス
前野 深(東京大地震研)
14:40-15:25 S3 大陸のつくり方 田村芳彦(海洋研究開発機構)
15:25-15:40 休憩
15:40-16:25 S4 無人艇による浅海域海底の試料採取方法
馬場尚一郎(海洋研究開発機構)
16:25-17:10 S5 西之島淤能基呂絵巻～島の生態系の作り方～
川上和人(森林総研)
17:10-17:30 総合討論

イブニングセッション

17:45-19:00 (京都大学 楽友会館 レストラン)

10月27日(金) 一般講演・ポスターセッション

09:30-10:50 一般講演 1 「機器開発」 座長 千賀康弘(東海大海洋)
A1 「みらい」ADCP パルス出力の定量評価システムの構築およびリングング検知手法の検討
○奥村慎也・古田俊夫(日本海洋事業)
A2 ドライバー体型推進スラストの開発
○菅澤 誠・吉田 弘・石橋正二郎・大田 豊・田中聖隆・樹田行弘(海洋研究開発機構)
A3 自律型無人探査機の長期運用に向けた海中非接触充電の開発
○田中聖隆・石橋正二郎・大田 豊・菅澤 誠(海洋研究開発機構)
A4 自律式探査機前方探査方式の検討
○月岡 哲・大美賀 忍・山本富士夫(海洋研究開発機構) 石川暁久(NME)
篠原雅尚(東京大地震研) 浅田 昭(東京大生研) 松田滋夫(クローバテック(株))

10:50-11:50 一般講演 2 「生態系」 座長 畑 恭子 (いであ(株))

- A5 DNA バーコーディング法を用いた浮遊性魚卵の種査定
◎平岡礼鳥・奥 俊輔・亭島博彦 ((株)日本海洋生物研究所)
- A6 東京湾海中における生物利用可能性を考慮した銅のスクリーニングレベルの生態リスク評価
◎田井梨絵 ((株)日本海洋生物研究所) 江里口知己 ((株)サイエンスアンドテクノロジー)
亭島博彦 ((株)日本海洋生物研究所)
- A7. 動物プランクトンの「環世界」-キクロプス目カイアシ類 *Oithona davisae* の行動研究から
○秋葉龍郎 (産総研) 劉 宝波・程 婉婷・田中祐志 (東京海洋大)

11:50-13:00 昼休み

13:00-14:00 ポスターセッション 楽友会館

- P1 アマモ場の一次生産力測定法の検討
○西野康人・井内 衛・松浦雄祐・北村充彰・中川至純・瀬川 進 (東京農業大)
- P2 鉄欠乏による色落ちワカメの鉄添加に対する応答
◎上野聡浩・三木 理・奥村真子 (金沢大) 小杉知佳・加藤敏朗 (新日鐵住金(株))
- P3 (取り消し)
- P4 海洋細菌による生物付着に対する UV の防除効果について
◎山田奈海葉・鶴島修夫・塚崎あゆみ・鈴木昌弘 (産総研)
- P5 ソナー搭載 ROV による極浅海域探査
◎山川稔喜・田中伶治・松井康浩・太田和彦 (金沢工業大)
- P6 小型自己記録式深海テレビカメラの構成と海底観測結果
○月岡 哲 (海洋研究開発機構) 浅田 昭 (東京大生研) 小栗 将 (海洋研究開発機構)
宮嶋優希 (マリワークジャパン)
- P7 小型イルカの呼吸時の姿勢に関する研究-ハイスピードカメラを用いて-
◎吉田瑞希 (東海大海洋) 森阪匡通 (三重大) 稲田喜信 (東海大工) 唐澤 勇・大植伸之
(伊豆・三津シーパラダイス)・安田健太・藤原克則・浅川 弘 (下田海中水族館)
若林郁夫 (鳥羽水族館) 千賀康弘 (東海大海洋)

14:00-15:40 一般講演 3 「観測手法開発・解析」 座長 秋葉龍郎 (産総研)

- A8 観測ブイによる海面ネットワークの構築と AI 技術を用いた環境予測システム
北澤裕司・○横尾 洋・中村哲也 (日油技研工業) 大塚孝信 (名古屋工業大)
- A9 GCOM-W/AMSR2 全天候海上風速データの精度評価
○江淵直人 (北大低温研)
- A10 サンゴ礁・離島における強磁性粉体を用いたエネルギーハーベスティングによる WSN 観測の一方法
○白井治彦・三田村啓理 (京都大) 野田琢嗣 (ISM) 荒井修亮・守屋和幸 (京都大)
- A11 DONET 2 海底水圧計測データのドリフト推定
◎西田周平・荒木英一郎・川口勝義 (海洋研究開発機構)
- A12 オンラインイオン交換モジュールによる海水 pH 制御装置の開発
○鶴島修夫 (産総研) 増長洋登 (日理工業(株))

15:45-15:50 ベストプレゼンテーション賞 発表・表彰

*ベストプレゼンテーション賞は、若手研究者・技術者の奨励を目的として、39歳以下の一般講演またはポスターの発表者を対象に、大会に参加している本会理事・幹事の投票により、発表内容および発表方法が最も優れていた1名が選考され、授与されます。本賞は平成29年度春季大会より設置いたしました。

*本大会でのベストプレゼンテーション賞は、◎印の対象者より、講演番号 A5 平岡礼鳥氏 ((株)日本海洋生物研究所) に授与されました。おめでとうございます。(2017/10/27)